

KAGETSUKAN



滝川市指定文化財 第3号  
昭和56年1月26日 指定

3  
亀の間Ⅰ



⑦岩村 通俊『索々書存兄老荘』 ■ 48cm×125cm

『金唐革の襖』

日本の伝統工芸品。500年前のヨーロッパでは宮殿の壁革などに用いられたが、その技法が途絶え「幻の芸術」と呼ばれる。当時の北海道には華月館ともう一カ所に存在した。

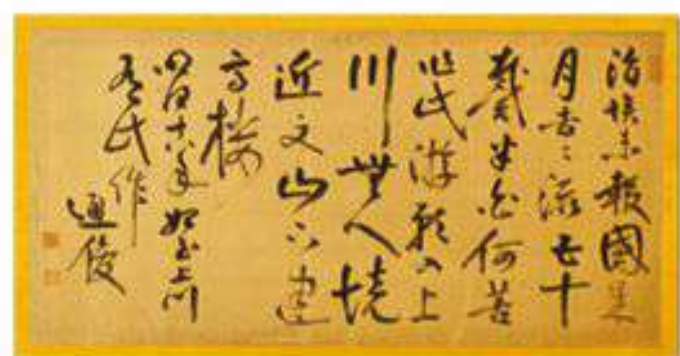
4  
亀の間Ⅱ



⑧後藤 新平『雅不能難偽』 ■ 34cm×96.2cm



⑨山岡 鉄舟 ■ 31cm×169cm



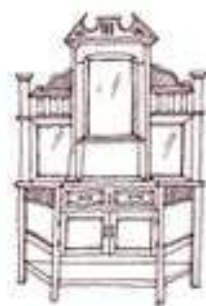
⑩岩村 通俊『消埃末報國〜』 ■ 43.2cm×81.1cm

『消埃末報國 歲月杳々流 五十載半日 何苦為此遊  
願入上川無人境 近文山上建高樓』  
〜未だ国家に報いていないのに、歳月は流れていく。五十歳にして半ば白髪となったが、夢は捨てていない。願わくば上川の無人境に入り、近文山に立派な楼閣を建てたいものだ。

明治十八年に可法大輔になった岩村通俊が、屯田本部長と共に上川を視察した際に、近文山に登って詠んだ絶句。翌十九年には、上川道路の開削を始めた。この書は、旭川点描にも掲載されており、旭川の歴史も何うことができる。



⑩大山 巖『忠君愛國』 ■ 34.1cm×139cm



⑪伊藤 明瑞  
■ 164.4cm×174cm  
(屏風。6歳時の書。小さな手形がある)

5  
廊下



6  
鶴の間



欄間  
『高砂の尉と姥』



◆平成24年6月22日

## 大正期に建築「奥座敷」、滝川市文化財 華月館の人気急上昇



### 【今春作成の新パンフ効果】

旧三浦屋旅館の奥座敷だった市文化財「華月館」(文京町1)の来館者数が急増している。2010年に12人、11年が28人だった4月の来館者は今年189人。5月も10年の83人、11年の69人から今年は116人へ。市教委は「『お宝』をうたった新作のカラーパンフレットが菜の花まつりの観光客を誘導したのでは」と喜ぶ。

華月館はホテル三浦華園の前身の三浦屋が1915年「大正4年」に建設した。趣きある和洋折衷洋式の木造一部二階建てで、伊藤博文や初代道庁長官の岩村通俊の書などを展示。市が指定管理者を置いて運営している。

昨年、同ホテルと市教委が共同で白黒のパンフレットを作成。今春は同ホテルがカラーパンフレット「お宝いっぱい華月館」を作り、5000部を観光協会や宿泊施設に置いた。

同館には、5歳の時に明治天皇に認められた逸話を持つ天才書道家伊藤明瑞が6歳で残した屏風の書も。これを見るため、今月末には山口県で明瑞の私設美術館を営む愛好家も滝川を訪れる予定。

同ホテルの三浦晃裕相談役は「華月館が滝川観光に貢献できたら嬉しい」と話す。

◆平成24年7月4日

## 山口県の住職が滝川来訪 「華月館」所蔵の作品見学



山口県で書家伊藤明瑞(1889～1948年)の私設美術館を運営する住職 竹林史博さんが6月29日に華月館を訪れました。竹林さんは「父親と全国を飛び回っていた明瑞が明治20年代、滝川を訪れ、初代三浦屋に泊まったのでは」と推測されました。

この様な「お宝」といわれる物が当館で受け継いできたこと、また、時代を超えて現在、山口県の竹林住職との縁を呼んだことに奇跡と幸運を感じます。

華月館

## 華月館の紹介



華月館は、三浦屋（ホテル三浦華園の前身）の奥屋敷です。二代目三浦庄作が、大正4年に宮内庁の出先機関を併せ持つ邸宅として建設。由緒ある貴賓室は、幾人もの旅人の心を癒してきました。

昭和55年の滝川市開基90周年を記念し、花月町から文京町に移転するとともに「華月館」と命名し、滝川市指定文化財の第3号として保存されることとなりました。

数々の貴重な調度品をはじめ、明治・大正の趣ある和洋折衷の建築様式をご覧ください。

## 作者の紹介



**伊藤 博文**  
いとう ひろぶみ 1841～1909  
初代内閣総理大臣。  
アジア最初の立憲体制の生みの親。  
旧千円札の肖像にもなっている。



**伊藤 明瑞**（日本 明瑞）  
いとう めいずい 1889～1948  
3歳で草書を自由自在に書いた天才。  
5歳の時に御前揮毫し、明治天皇に  
明治の瑞才と誉められこの名を賜う。



**井上 円了**  
いのうえ えんりょう 1858～1919  
仏教哲学者、教育家。  
後に東洋大学となる哲学館を設立。  
迷信打破を説き妖怪学者として有名。



**岩村 通俊**  
いわむら みちとし 1840～1915  
初代北海道庁長官として赤レンガ庁舎を  
建築。北海道開拓に生涯を捧げ、東京・  
京都に縦く「北京」設置を構想した。



**榎本 武揚**  
えのもと たけあき 1836～1908  
幕末の函館戦争、明治の北海道  
開拓に関わり、農業の重要性を  
痛感。東京農業大学を創設した。



**大山 巖**  
おおやま いわお 1842～1916  
日本陸軍の創成期から日露戦争に  
かけて活躍した軍人。政治面でも  
陸軍大臣、内務大臣などを歴任。



**後藤 新平**  
ごとう しんぺい 1857～1929  
満鉄初代総裁、日本放送協会初代  
総裁、拓殖大学第3代学長。  
関東大震災後に復興計画を立案。



**山岡 鉄舟**  
やまおか てっしゅう 1836～1888  
武術に才能を示し、無刀流の開祖と  
なる。勝海舟、高橋泥舟とともに  
「幕末の三舟」と称される。

## 華月館のご案内

住所 北海道滝川市文京町1丁目1-19  
観覧時間 午前10時～午後4時  
休館日 月曜日・年末年始

ご観覧を希望される方は市民会館まで  
☎ 0125-24-7710

提供 ホテル三浦華園

